

## MESSAGE

サプライチェーンマネジメント  
担当役員メッセージ

執行役員SCM総括  
通信計測カンパニー SCM本部長  
藤掛 博幸

## 取引先さまと強固な関係を築き、柔軟でグローバルな サプライチェーンマネジメント体制を構築します

**2** 020年度はコロナ禍に始まり、多くの自然災害、半導体をはじめとする部材のひっ迫など、サプライチェーンを寸断する問題も発生する中、アンリツでは部品納期と生産計画の最適化に注力し、生産リスクを抑え込めた点は評価できていると考えています。また、コロナ禍で対面が制限される状況にあっても取引先さまとのコミュニケーションの充実を図り、相互の意思疎通に努めたことで、多くの難局を乗り切ることができました。これは、サプライチェーンにおける事業継続マネジメント(BCM)が適切に運用された結果と受け止めています。

2030年を見据えた中期経営計画GLP2023のサステナビリティ目標では「グローバルなCSR調達の推進」を掲げ、KPIの一つに「サプライチェーン・デューデリジェンスの強化」を設定しました。

目標達成のため、グローバルサプライチェーンの強化を図るだけでなく、「極めるSCM」を具現化したいと考えています。垣根を超え、限界を超えるものづくり(調達・サプライチェーン・製造・サービス)を極めて、フレキシブルに対応できる組織をつくり上げ、「ものづくりのプロ集団」としてお客さまのあらゆる要望に応えていきます。さらに製造

ラインの効率化を追求するため、2021年度からロボットを導入し、工程の自動化や無人搬送、自動倉庫化などに取り組みます。また、環境に配慮したグリーン調達を推進するため、国内外の取引先さま全てに環境取り組み調査を毎年実施し、Cランクの取引先さまをA・Bランクへの引き上げを行っていきます。

KPIの「サプライチェーン・デューデリジェンスの強化」は、特に人権問題に注力していきます。

2021年度は一層の人権リスク把握のため、CSR調達アンケート内容を改訂しグローバルで実施いたします。人権を含めてハイリスクがあるか確認の上、監査も実施し改善活動を推進していきます。

今後も継続してCSR調達アンケートを基にしたサプライヤー調査、監査による課題の洗い出し、情報交換会や取引さま展示会などで挙げた課題への対応、人権に関する啓発活動に取り組み、取引先さまと共に、サプライチェーン・デューデリジェンスの感度を高めてまいります。

## Social

サプライチェーン  
マネジメント

## 社会課題に対する考え方

大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大により、事業継続リスクが高まっています。また、サプライチェーンの拡大・複雑化にともない、労働問題、人権侵害、環境汚染など、さまざまな問題が生じています。

グローバルに調達活動を展開しているアンリツグループにとって、より良い製品を提供し、継続的に企業活動を進めていく上で、柔軟でグローバルなサプライチェーンマネジメント体制を構築し、ESG課題にも応える取り組みが必要不可欠です。そのために、国内外の全ての企業に機会を提供し、公平な評価により調達を実施するだけでなく、関係する法律、商習慣、社会規範の遵守、人権の尊重を基本に、取引先さまとのより強固なパートナーシップを構築し、サプライチェーン全体を通じたマネジメントを行い、社会の期待・要請に答えていくことが重要であると考えています。

## 方針

調達活動にあたり、取引先さまとサプライチェーン全体で活動し、相互の成長につなげていくことが重要であると考えています。取引先さまとの相互信頼に基づいたパートナーシップを構築するために、2005年に「資材調達基本方針」を制定し、取引先さまにご理解とご協力をお願いしています。また、「アンリツグループCSR調達ガイドライン」、「アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン」を定めて取引先さまに協力を要請し、現代奴隷法や紛争鉱物(米国金融規制改革法第1502条)への対応を含めた人権、労働・安全衛生、環境、公正取引、倫理などに配慮したサプライチェーンの構築を進めています。

WEB アンリツ資材調達基本方針

WEB アンリツグループCSR調達ガイドライン

WEB アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン

## 体制

アンリツは、SCM総括役員のもと、資材調達本部が調達戦略・製造委託戦略・物流戦略の策定および実行、ならびに資材調達に関する業務を行っています。グループ会社を含む世界各拠点におけるグローバルな資材調達と物流を統括し、アンリツグループの資材調達業務の集中と分散の最適化による柔軟な調達体制を構築しています。

調達拠点である米国、中国、日本では部品採用における評価基準はグローバルで統一し、各拠点が認定したサプライチェーンの相互活用を可能にしています。

## 目標

2020年度は、中期経営計画GLP2020で次の目標を掲げて取り組みました。

## グローバルなCSR調達の推進

- ▶ 海外取引先さまを含むサプライチェーン全体で、CSR調達を推進
- ▶ デューデリジェンスを活用したマネジメントによるグローバルサプライチェーンの強化

## グローバルなグリーン調達の推進

- ▶ 海外取引先さまを含むサプライチェーン全体でグリーン調達を推進
- ▶ 環境パートナー認定取引先さまの拡大によるグローバルサプライチェーンの強化

## 2023年度に達成しようとする中期目標

2021年度～2023年度は、中期経営計画GLP2023で次の目標を掲げて取り組んでいきます。

- ▶ CSR調達調査件数を3年間累積10社以上実施するとともに、対象地域(主にアジア)の拡大を図る。
- ▶ 取引先さまに対して3カ年のプログラムでCSR調達に関わる情報発信、教育活動を行う。これによりアンリツの取り組みを浸透させる。
- ▶ グリーン調達のさらなる推進のため認定取引先比率の向上を図るとともに、環境に関わる教育を通じて、アンリツ起点の環境に配慮したサプライチェーンを構築する。

 P.66 環境パートナー企業認定制度

## 取り組み／活動実績

### アンリツグループCSR調達ガイドラインの運用

2010年度に、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック(現在は「責任ある企業行動ガイドライン」と改訂)」に準拠し、「アンリツグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。新たな取引先さまとの取引開始時や取引先さまへの方針説明会で、理解と取り組みをお願いするとともに、CSR調達の推進に協力していただくための「同意書」の提出をお願いしています。また、取引先さまから

の生の声によりCSR調達などを推進するため、“声の直行便”ポストを郡山事業所の商談室に設けています。今後とも取引先さまと一体となり、CSR調達を進めていきます。

 アンリツグループCSR調達ガイドライン

### サプライチェーン・デューデリジェンス

新規に取引先さまの口座を開設する際は、信用状況の調査、品質管理・環境管理調査、工場調査などを行っています。既存の取引先さまに向けては、CSRへの取り組みを確認する目的で、人権・労働・安全衛生・公正取引・倫理・品質・安全性・情報セキュリティなどの項目を設けて「CSRアンケート」を実施しています。2020年度は、これまでの日本語版、英語版に加えて新たに中国語版も作成しました。また、GCNJサプライチェーン分科会のワーキンググループに参加し、往査手法について各社と意見交換するなど、充実に努めています。2019年度は中国・台湾の2次取引先さま2社を往査し、両社とも人権・労働、安全衛生について重大なリスクがないことを確認しました。これまでのところ、CSRアンケート、往査の中でコンプライアンス違反の取引先さまはいません。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、往査は実施できませんでしたが、オンラインによる監査方式を検討しました。2021年度は、国内で2社、アジア圏で4社のオンライン監査の実施を予定しています。

### 現代奴隷法

アンリツでは、サプライチェーン・デューデリジェンスの中でも、特に人権問題に注力しており、「英国現代奴隷法」を遵守しています。アンリツ(株)およびAnritsu EMEA Ltd.は同法の遵守対象であり、2016年から毎年両社のWebサイトでステートメントを開示しています。また、2018年にオーストラリアで制定された「豪州現代奴隷法」においても対象となることから2020年から両法令を含めたステートメントを開示しています。このステートメントには、取引先さまへのCSRアンケートと啓発活動、国内外アンリツグループ社員への教育活動などについて記載しています。

 サプライチェーンにおける人権課題への対応

### 紛争鉱物

アンリツは紛争鉱物の問題に対しても、継続的な取り組みを行っています。この一環として2012年に最終規則が採択された米国金融規制改革法第1502条(いわゆる紛争鉱物規制)に賛同しました。アンリツ製品に紛争鉱物が含まれることを防ぐため、「アンリツ資材調達基本方針」「アンリツグループCSR調達ガイドライン」において、紛争鉱物を使用しない取り組みを進めることを掲げ、取引先さまに主旨を理解してもらえよう説明会を開催しています。お客さまからの紛争鉱物調査に対しては、国内外の取引先さまに調査を依頼して回答しています。

WEB アンリツ資材調達基本方針

WEB アンリツグループCSR調達ガイドライン

## グローバル推奨サプライヤ制度

アンリツグループ全体で共通して取引できる取引先さまを認定する「グローバル推奨サプライヤ(GPS: Global Preferred Suppliers)」制度を設けています。調達活動の効率化を図るとともに、取引先さまと開発ロードマップや技術的課題を共有することで、製品開発のTTM(Time To Market: 商品の市場投入までの時間)短縮を実現していきます。これまで12社を認定しています。

## コンプライアンスの実践

アンリツは「アンリツグループ企業行動憲章」「アンリツグループ企業行動規範」「アンリツ資材調達基本方針」において、資材調達業務におけるコンプライアンスを定めています。「接待や贈答品を受けない」「取引先さまのインサイダー情報による株式の売買は行わない」などの行動規範の遵守を徹底し、公正かつ透明性のある取引を行っています。

WEB アンリツグループ企業行動憲章

WEB アンリツグループ行動規範

WEB アンリツ資材調達基本方針

## 購買担当者の教育

資材部門に配属された新入社員や異動者には、CSR調達ガイドラインなどを用いてCSR調達活動全般に関する教育を行っています。また、SDGs、現代奴隷法、下請法、ISO 9001などをテーマにしたeラーニングや、人権・労働に関するケーススタディについて職場やチームで意見交換を行い、理解や意識向上を図っています。

## サプライチェーンBCP

### ● 取引先さま情報データベースの構築・活用

自然災害などで取引先さまの事業が停止するリスクに対しては、早期の情報収集と事前の備えにより適確な初動を行うことをBCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)の基本としています。

自社で構築した取引先さまの製造・倉庫拠点情報のデータベースを活用し、影響を受けそうな取引先さまの推定を行い、各種メディアや取引先さまからの情報収集を通じてリスクの特定と最小化を図り、安定供給を確実にしています。2020年10月にはこのデータベースを更新しました。取引先さまの生産アイテムごとの拠点情報を盛り込むとともに、地図情報と連動を図るなどBCP活動の早期分析につなげています。

2020年度は12件のBCP活動を行いました。新型コロナウイルス、地震、台風などの自然災害、さらには工場火災などに直面しましたが、取引先さまと密接なコミュニケーションを図り、生産調整、代替品への変更などに取り組み、影響を最小限にとどめました。今後も引き続

き、データベース拡充、事前準備の充実など強化を進めていきます。

### ● 与信管理

取引先さまの与信情報の変化をいち早く察知し、転注や取引終息を事前に実施することで安定調達を継続できるよう与信管理を充実させています。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、取引先倒産リスク調査を2019年度の全ての取引先さまを対象に実施しました。倒産リスクが高いと判断した取引先さまについては、企業情報レポートを入手するなど監視を強化するとともに、転注先の検討も行っています。また、米国拠点においても監視対象の取引先を複数社取り込み、被害を未然に防ぐ取り組みを強化するなど安定調達に注力しています。

## グリーン調達ガイドラインの運用

アンリツグループでは、取引先さまとともに環境に配慮した製品づくりを推進するために、1999年度に「グリーン調達ガイドライン」を定め、環境に配慮した部品や材料を優先的に調達するグリーン調達を実施してきました。2016年度から、「アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン」に改め、生産拠点のある海外アンリツグループとグリーン調達の共通化を行っています。RoHS指令やREACH規則など、欧州を中心に世界的に広がりを見せる化学物質規制に対しては随時ガイドラインの見直しを行い、取引先さまとともに徹底を図っています。

WEB アンリツグループグローバルグリーン調達ガイドライン

## 環境パートナー企業認定制度

アンリツは、2001年度にグリーン調達を推進するため、「環境パートナー企業認定制度」を創設しました。取引先さまの環境への取り組みを評価し、優良な取引先さまを認定しています。2019年9月からは、製品含有化学物質管理に焦点を当てた評価に変更しました。チェックシートにより管理状況を上位からA, B, Cの三段階で評価し、AおよびBランクの取引先さまを環境パートナー企業と認定しています。現在の環境パートナー企業認定企業数は203社です(2021年5月実績)。一方、改善の余地のある取引先さまに対しては、レベルアップを支援しています。

### 環境パートナー制度ランク

Aランク	管理を確実にしている	サポート/改善を実施
Bランク	基本的要件を満たしている	
Cランク	確実に管理するシステムが無い	

## 取引先さま製品展示会

アンリツは、毎年取引先さまの製品や技術をエンジニアに紹介し、情報交換を行う製品展示会を開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、集合方式を取りやめ、オンライン方式で「Anritsu Online Exhibition」を3週間にわ



Anritsu Online Exhibition

たり開催し、42社の取引先さまに出展いただきました。最新技術紹介を行うウェビナーを計15回開催し、取引先さまとアンリツとのコミュニケーションの場にすることができました。

現下の状況を踏まえ、2021年度も同様にオンラインによる製品展示会を企画予定です。

## 取引先さま懇親会

アンリツは毎年1月に、取引先さまを招いて懇親会を開催しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のためオンラインで実施し、140社、340名の皆さまにお集まりいただきました。本会では毎回、グループCEO、主要事業グループのプレジデント、資材調達本部長がプレゼンテーションを行い、方針、取り組みなどを共有しています。取引先さまの表彰も行い、品質・納期・価格全てに優れた取引先さまに感謝の意を伝えました。今回は新たな取り組みとして、取引先さまにもプレゼンテーションを行っていただきました。

## パートナーQU (Quality Up) 提案活動を推進

取引先さまとのコミュニケーションツールとして、アンリツに対する改善案や要望点、ご意見などを提案いただく「パートナーQU (Quality Up) 活動」を推進しています。調達に限らず、営業・技術・製造・サービス・安全衛生・環境・CSRなど幅広い分野での提案を受け付けており、業務改善に役立っています。

## コラボレーションルームの設置

アンリツの開発エンジニアと取引先さまとのコミュニケーションを一層活性化させ、新たなソリューションを生み出す場として、社内に複数のコラボレーションルームを開設しています。メーカー・代理店のセールスエンジニアが日替わりで駐在し、開発推進に大いに役立っています。コロナ禍の影響により使用を停止していますが、終息次第再開を予定しています。現在は、オンライン会議を活用しコミュニケーションの充実を図っています。

## VOICE



### 厚いコミュニケーションで 強固な関係を築いています

株式会社ワカ製作所  
代表取締役社長  
若林 佳之助 様

アンリツさまは、当社の重要なお客さまです。取引先を、本当に大事にしてくれる会社であり、コンペによる価格だけで納入先を選定するわけではなく、サプライヤーを育てながら共に関係を築いていくという考え方が強い会社だと感じています。コミュニケーションにも力を入れておられ、富士見会という取引先の交流組織を長年にわたり運営されています。私は現在副会長を務めています。この会では、方針説明や今後の取り組みなどについて説明が行われ、会員企業の事業に役立っています。